

天然皮革の製品は、一般的な繊維製品よりも長く愛用されていることが多いようですが、その特性については十分に理解されていない部分もあるようです。今回は、動物から剥いだ皮を利用する皮革製品に特有のシワについて紹介します。

素材
特性
に注意

監修／クリーニング総合研究所

衣類の状態

クリーニング後、前身頃に使用している皮革部分の風合いが変化したとの申し出があったもの。

ため、クリーニングの後でトラブルになることがある。

事故の防止対策

天然皮革の特性であるため、抜本的な解決策はない。

天然皮革製品を受け付ける際には、入念なチェックを行い、生体時の傷や皮膚のシワ、組織のムラなどがクリーニングすることにより明瞭になる可能性があることを利用者に伝え、了承を得た上で処理すること。

原因

クリーニングしたことで、生体時の皮膚のシワや組織のムラなどが目立つようになったことによるもの。このような現象は、動物の皮をはいで加工する天然皮革で特有に生じるものであるが、こうした特性が十分に理解されていない



前身頃部分に天然皮革を使用したベスト

受付での 主なチェック項目と 利用者への伝達事項

- 天然皮革製品は、個体や裁断する部位の異なる皮革を集めて1着の縫製品とするため、縫い目を境にして色や風合いに違いが生じることがある
- スエードの場合には、縫い目を境にして毛羽の状態に違いが生じることがある
- 生体時の血管の跡や皮膚病、けがの跡、ダニに刺された痕などがクリーニングで明瞭になることがある
- 著しい汚れや固着した汚れ、シミやカビなどは除去できないことがある
- クリーニング前には目立たなかったシミや目に見えないシミなどがクリーニングすることで浮き出てくることもある

皮革と布帛を 組み合わせた衣類の クリーニング

天然皮革と布帛では、クリーニングでの取扱い方法が異なることから、ウインドブレーカーなどから代表されるような皮革と布帛を組み合わせた衣料品は一旦全体を解体して、皮革と布帛を切り離して別々に処理することが理想。それができない場合には、皮革と布帛の構成割合に応じてどちらかを主体にしたクリーニングを行うことになるが、利用者にはあらかじめ皮革と布帛の両方を満足させるようなクリーニングはできないことを了承してもらうことが必要。



細かなシワが生じている

前身頃	天然皮革	
	羊革	
後身頃	絹	100%
中綿	ポリエステル	100%
裏地	絹	100%

●「衣料管理情報」は全ク連ホームページからPDFをダウンロードいただけます。
全ク連 HP <https://www.zenkuren.or.jp> 「お知らせ」→「衣料管理情報」